

森りょうじ リポート。(70号)

～ 皆さんと一緒に、森も動く。～

政治と選挙は相関関係です。とくに地方選挙は個人の政治実績に対して評価される傾向があります。一方で議会は組織であり、市政発展のためには“組織力”を生かして市民の負託に応える姿も大切だと思います。

■教育の格差是正へ(教育福祉委員長として)

常任委員会で小中学校を視察。校長との意見交換を行い、学校間に見られる様々な格差の是正に取り組んでいます。全ての子ども達にとって教育環境は平等です。

■議会を、さらに強く。(議運副委員長として)

日経新聞(6/17)が最新の地方議会改革度ランキングを発表、流山市議会は全国5位(県下1位)でした!皆様から称賛の声を頂き、とても嬉しく感じています。もちろん現状に満足することなく、今議会では『議員研修の充実強化』を図るための条例改正を行いました。当市議会は、さらに進化を続けていきます。

■議会の役割は、チェック&バランス。

今議会では執行部提案の議案1件(契約案件)を否決、1件を修正可決しました。健全な市政運営に向けて、議会はしっかりと役割を果たしています。

■ご案内:第3回定例会 9/4-10/7(予定)

※お盆休みがありますので8月の駅頭はお休みします。

○1976年6月12日流山生まれ(38歳)

※サラリーマン家庭(父はNTTに勤務)で育つ
流山市立新川小、流山市立北部中卒業
日本大学第一高校、武蔵大学経済学部卒業

○2000年4月 大成建設株式会社に入社

○2003年4月 流山市議会議員に初当選(2,692票)

○2007年4月 千葉県議会選挙に挑戦(次点)

○2007年6月 シンクタンク東京財団政策研究員(2年間)

※世界や日本の地方政治・地方自治を研究

○2011年4月 流山市議会議員当選(二期目)

※市政史上の最高得票4,508票をいただきトップ当選

※政治理念はケネディ大統領の「国が何をしてくれるかではなく、自分が国のために何ができるか」。

趣味:政治(人と語る・駅頭)・読書・コミュニケーション

体型:身長160.5cm・体重53.5kg

後援会事務所:流山市中野久木559-2

討議資料

森りょうじ

森が動く。



流山市議会議員

今年3月に流山市の人口が17万人となりました。昭和42年の市施行時は4万2千人であったことからすると、4倍の規模となったこととなります。

その間、市民の生活環境は大きく前進し、同時に様々な市特有の財産を築いてきました。今後も発展をしていく中で、それらの恩恵を忘れずに、大切に受け継いでいく。今議会の質問テーマは「温故知新」でした。(裏面特集)

一般質問

【公共交通イノベーション】

常磐自動車道イノベーション

流山 I.C に繋がる有料道路の無料化（現在は 100 円）は平成 34 年の予定です。議会では時期の前倒しに向けた取り組みもしていますが、今回は常磐自動車道の値下げの可能性についても質しました。

右図のように首都高から接続する常磐道は様々な料金設定がなされています。

一方、仙台までの全長 244 km の中で千葉県内の区間距離はわずか 10 km 以下。そこで首都高料金の範囲の拡大（柏 I.C まで）や、大都市近郊区間の単価見直しを働きかけてはどうかと提案しました。

また渋滞緩和や利便性の向上により地域経済の活性化に繋がる点から注目を集めるスマート I.C 設置（流山と柏の間）の可能性についても質しましたが、慎重な答弁結果となりました。

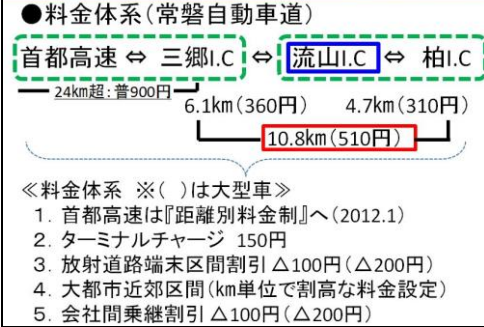
東武鉄道イノベーション

東武野田線に愛称「アーバンパークライン」が付与されました。利用者からは様々な声もあるようですが、いずれにしても鉄道事業者には名称に相応しい沿線整備を期待するもの。

その上で当市のまちづくりとの連携について見解を質しました。

- ① 隣接する運河水辺公園を生かした『運河駅』周辺の活性化（駅名変更・副駅名化を提案）
☆副駅名の提案：『運河駅（水辺公園前）』
- ② 初石駅東口の開設について（開設見通しと駅前市有地の有効活用について提案）

資料②：常磐自動車道を、もっと生かす。



資料⑩：東武アーバンパークライン路線



羽田空港シャトルバス構想

約 2 年前に運行の可能性が高まった羽田空港へのシャトルバス構想。結果は見送りとなりましたが、近年の東京五輪の開催決定、羽田空港の国際化、駅前市有地の活用計画、パスポート発給の権限移譲（今年度予定）など外部環境の変化は、更にその必要性を促しています。

当時は近隣市で運行するバス利用客が減少傾向であったことが見送りの理由でした。しかし外部環境が好転し、また駅前市有地へのホテル誘致策には空港直結バスの存在は大きな材料になるはず。バス事業者との間では保留案件であり、再度協議を始めたこととの答弁でした。

その他の質問事項

【ダイジェスト】

①市の人口が増えていく時代にこそ、郷土愛を育む取り組みも重要になると思います。

ア) 新しい祝日 8/11（山の日）には、山に由来する流山市史を見つめ直す日にする提案

イ) 市内主要駅（おたかの森・南流山駅）での市歌の駅メモロ化

流山には市民の歌、流山音頭、流山小唄がある。

資料⑮：市歌（市民の歌）を、生かす。

- 流山市民の歌（作詞：岩谷時子 作：いずみたく 歌：エイセス）
- ①昭和57年の市制施行15周年を記念して制作
 - ②『いつでも、どこでも、だれでも気軽に歌える歌を』のイメージをベースに市民の方から募集
 - ③評価：市民の皆様からは、「ふるさと流山の感じが実によく表現されている。」「覚えやすく曲も良い。」「若々しい歌のイメージで、これから発展しようとする流山にピッタリの曲である。」など意見を頂いております。

ウ) 自治体 C.I（ロゴ・コピー）の戦略的運用

②NPO や市民活動団体の高齢化が問題となっており、その現状認識と併せて、事務負担軽減に繋がる千葉県からの NPO 窓口業務の権限移譲への取り組み状況を再確認

⇒県に対して、要望を行っていきたい

③おたかの森駅～東深井間を結ぶ幹線道路の事故状況と安全対策（とくに三角公園付近と西初石 1・2 丁目周辺）を確認

⇒警察にしっかりと要望していくと答弁

WebSite「森りょうじ」を検索！
また Twitter・Facebook も更新中！

【連絡先】TEL & FAX:7155-3236
Mail:ryoiji612@peach.ocn.ne.jp